

News Release

2019年5月30日

株式会社日立製作所

株式会社日立ビルシステム

日立エレベータータイ社

日立がタイ・スワンナプーム国際空港向けに エレベーター・エスカレーター・動く歩道計 174 台を受注

株式会社日立製作所(執行役社長兼 CEO:東原 敏昭/以下、日立)と株式会社日立ビルシステム(取締役社長:関 秀明/以下、日立ビルシステム)は、このたび、タイ王国(以下、タイ)の昇降機販売・サービス会社である Hitachi Elevator (Thailand) Co., Ltd.(社長:岸川 孝生/以下、日立エレベータータイ社)を通じて、タイ空港公社(AOT: Airports of Thailand Public Company Limited)が拡張工事を進めているスワンナプーム国際空港向けのエレベーター・エスカレーター・動く歩道計 174 台を、タイ空港公社から建設委託を受けているタイの Power Line Engineering Public Company Limited(パワーライン社)と China State Construction Engineering (Thailand) Co., Ltd.(中国建築社)の共同事業体である PCS Joint Venture(PCS 社)より、受注しました。今回の受注は、タイにおける日立グループの昇降機の受注としては過去最大級となります。

タイの昇降機新設市場は、年間約 6,000 台の需要があり、今後も安定的な推移が見込まれる東南アジア最大規模の有望な市場です。日立は、1974 年に Siam Motors Co., Ltd.(サイアムモーターズ社)と代理店契約を締結して市場参入し、1991 年には両社が合併で Siam-Hitachi Elevator Co., Ltd.(サイアム日立エレベーター社)を設立、1992 年には工場を新設して、タイの昇降機業界をリードしてきました。

スワンナプーム国際空港は、バンコク市中心部の東方約 30 キロメートルのサムットプラカン県ノングハオに位置し、2006 年に開港しました。2018 年の旅客数は約 6,300 万人で、国際線旅客数では世界第 9 位の国際空港です。現在、旅客処理能力拡大に向けて拡張工事が進められており、新たに 4 階建てのサテライトコンコースビルが建設され、2020 年 4 月に運用が開始される予定です。

日立エレベータータイ社は、今回、スワンナプーム国際空港向けにエレベーター 53 台、エスカレーター 83 台、動く歩道 38 台の計 174 台を受注しました。タイおよび中国の工場にて製造し、2020 年中に全台納入予定です。日立は、これまでスワンナプーム国際空港に 100 台以上の昇降機を納入しており、安定的な稼働実績を高く評価され、今回の受注に至りました。

日立と日立ビルシステムは、今後も、安全・安心・快適な昇降機や、都市空間におけるお客さまのさまざまな課題解決に貢献するサービスをグローバルに提供し、持続可能な社会の実現に貢献します。

■受注したエレベーターの概要

用途	定格速度	積載質量	台数
エレベーター(乗用)	60m/分	1,000 / 1,600 / 2,000 kg	53台

■拡張工事完了後のスワンナプーム国際空港の外観(イメージ)



以上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
